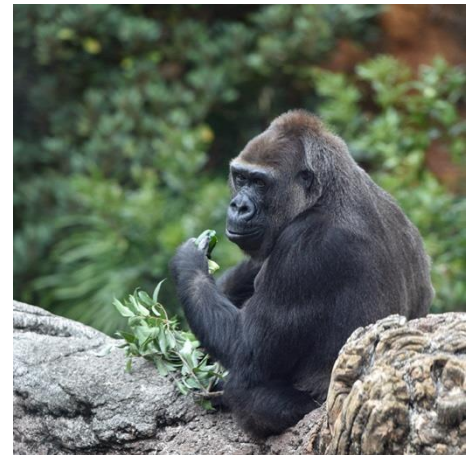


ニシゴリラの「モモコ」が妊娠しました！ ～恩賜上野動物園と当園で行っている共同繁殖の成果～

千葉市動物公園から恩賜上野動物園へ共同繁殖（ブリーディングローン）のために貸し出している、ニシゴリラ「モモコ」が、6頭目の子どもを妊娠しましたので、お知らせします。

1 妊娠したニシゴリラ

名前	モモコ（メス）
年齢	38歳
履歴	1983年6月3日 スペイン生まれ
	1990年3月29日 千葉市動物公園に来園
	1999年7月27日 恩賜上野動物園に移動
	2000年7月3日 モモタロウ（オス・第1子）出産
	2002年7月8日 千葉市動物公園に帰還
	2008年12月2日 恩賜上野動物園に移動
	2009年11月14日 コモモ（メス・第2子）出産
	2013年4月24日 モモカ（メス・第3子）出産
	2016年10月12日 出産（子は死亡）
	2017年10月9日 リキ（オス・第5子）出産



【ニシゴリラ「モモコ」】

（撮影日：2021年11月18日）

2 妊娠経過

2021年9月23日に、オスの「ハオコ」と複数回の交尾が確認されました。妊娠の指標となる尿中ホルモンを検査したところ、尿中のホルモン値の動向からほぼ妊娠が確定したと判定しました。

「モモコ」への影響を考慮し、エコーやレントゲンによる検査は実施していません。

3 出産予定日

ゴリラの交尾から出産までの期間は約8カ月半（250日～270日）であることから、交尾確認日（9月23日）を妊娠0日とすると、出産は2022年6月上旬から中旬頃になる見込みです。

4 繁殖について

ゴリラのメスはおよそ7歳（6歳5カ月～8歳7カ月）で性成熟します。野生での初産は10歳前後が普通です。発情周期は25～40日で、平均26日、妊娠期間は約8カ月半（250～270日）と報告されています。

新生児の体重は約2kg（1.8kg～2.3kg）で、9週齢でハイハイをし、30～40週齢で歩き始めます。離乳は2.5～3歳です。

5 当園での飼育状況

飼育総数 2頭（オス1頭、メス1頭）

- ・オス 「モンタ」 37歳 1990年3月29日、モモコと同時に来園
- ・メス 「ローラ」 44歳 2008年12月8日来園

6 当園所有のゴリラの飼育園館

- ・オス 「モンタ」 千葉市動物公園
- 「モモタロウ」 京都市動物園へ繁殖貸与中
- 「ゲンタロウ」 京都市動物園で誕生し、貸与中
- ・メス 「モモコ」 東京都恩賜上野動物園へ繁殖貸与中
- 「モモカ」 東京都恩賜上野動物園で誕生し、貸与中

7 モモコ出産における当園の関わりについて

妊娠が確認されて以降、モモコの健康状態などの情報を共有してきました。

恩賜上野動物園は、「群れ」のなかでの自然分娩を目指していることから、母子の安全策や難産対策も踏まえ、予想し得る万全の体制が取られています。

当園はモモコの所有園館として、数少ない出産事例へ直接参加することで、今後の飼育技術の向上を図るため、担当職員が出張し協力する予定です。

<参考>

ニシゴリラ（霊長目 ヒト科）

(1) 学名 *Gorilla gorilla gorilla*

(2) 大きさ 頭胴長 150～170cm 体重 90～180kg

(3) 分布 コンゴ、ガボン、カメルーン等の熱帯雨林に生息

(4) 生態等 体色は黒が基本であるが、褐色や灰色がかっていることが多く、オスは頭の毛が赤茶色の個体が多い。成獣のオスは背中から太ももにかけて体毛が白くなる「シルバーバック」になる。

シルバーバック 1頭にメス数頭と子供たちからなる 10頭前後の群れで生活している。草木のほか、果物、昆虫も食べる。西アフリカで 31万頭以下が生息していると推測されているが、環境破壊、病気、狩猟で減少の危機にさらされている。

ブリーディングローンについて

繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園間で動物を移動させることにより新たなペア形成を促し、繁殖に寄与する目的で行う。